

雪を迎え撃つ

先月上旬以来、ここ大館でも雪景色の日が多くなってきました。北国の長い冬が、いよいよ始まりです。冬は、多くの人にとつて「雪との戦い」。特に、スタッドレスタイヤ時代となった昨今、冬道の安全性・快適性確保の任務に寄せられる期待には、ひときわ大きなものがあります。そこで今回は、大館市の除雪体制についてご紹介しましょう。

常に気象条件を監視し

24時間体制の備え

道路の除雪は、国、県、市が役割を分担して行っています。このうち市が担当するのは主に市道で、国道については建設省大館国道出張所、主要地方道や一般県道については県・北秋田土木事務所がそれぞれ担当しています。

この冬、市が除雪する路線の総延長は四百二十キロメートル。市道三百九十キロメートル、私道三十キロメートルという内訳です。

市では、グレーダーや除雪ドーザーなど、市の車両と民間からの借り上げ車両合わせて九十六台を用意。また、歩行者の通行に支障が出ないように歩道も三十三キロメートル除雪する計画で、これにはロータリー車八台が対応します。

さらに、坂道などでのスリップを防ぐため、朝と夕方、四十二カ所・三キロメートルの道路へ、二台の融雪剤散布車の出動を予定しています。市ではこれら除雪車両の機動力を最大限に発揮し、また除雪に携わる各担当者も除雪区域のパトロールや気象情報の収集に努めながら、まさに二十四時間態勢で降雪に備えます。

降雪状況に応じて

昼夜を問わず出動

雪がたくさん降ると「除雪車はいつ来てくれるのだろう？」と思いますよね。

市では、気象情報をもとに、降雪量が五〜十七センチ以上と予想される場合に除雪車両を出動させます。降雪時の除雪作業は午前一時ごろから開始、交通量の多い主要幹線やバス路線、通園・通学路

など緊急性の高い道路から順に除雪し、通勤や通学などに影響が出ないように配慮します。交通の妨げにならないよう、午前七時三十分ごろの終了をめどにしていますが、降雪時刻や降雪量によっては昼夜を問わずに作業します。降雪状況で、地域によってはどうしても作業が遅れてしまう場合もありますので、あらかじめご了承ください。

また、除雪作業の際には、雪を積み上げる場所として空き地や広場を一時的にお借りする場合がありますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

市が除雪を担当するのは、原則的には、四メートル以上の幅を持つ市道なのですが、私道、特に住宅に接する生活道路や集落間の連絡道路、小路についてもできる限り除雪します。

しかし、私道の中には、除雪車が入って行けるだけの幅がない道路や、進入できても雪を積み上げるのに適した場所がないところもあります。そのため、作業が困難と思われる小路では、やむを得ず除雪を見合わせることもあります。この場合は、市が指定している雪捨て場を利用して自主的な排雪をお願いします。

町内会などで雪を出す日(土・日曜日)を決めてもらえれば、市が除雪車などを出して処理にあたりますのでご相談ください。ただし、対象は路上の雪のみとします(個人からのご要望には応じられませんのでご了承ください)。なお、通常の除雪をしながらのことですので、当日の降雪状況によって除雪車が緊急出動しなければならなくなった場合には、順延とさせていただきます。

作業の安全確保のため

これだけはお願ひします

例年、雪の量が増えると、除雪に関係したトラブルが多く発生します。除雪作業がスムーズに進